

東日本大震災広島中央保健生協支援対策ニュース

NO. 19(2 ページ) 2011.4.5 8:30 発 広島中央保健生協対策

1. 第2陣が帰広!

4月3日(日)夜に福山院長、野田師長、万徳技師が医療支援を終え、無事、広島に帰ってこられました。月曜日は休養日なので報告は後日となりますが、福山院長は午前中に出勤され、避難所生活の気苦労さを気遣っておられました。

1)第3陣の医療支援が出発!

送り出した職場に感謝。支援を送り出した職場も支援者

4月3日(日)午後福島生協病院南4階病棟の土佐岡さん、院内保育士の長谷川さんが医療支援に出発しました。

土佐岡さんは「病棟看護体制が厳しい中で送り出していただいた。病棟のみんなの気持ちと一緒に支援をがんばりたい」と話しておられました。保育士の長谷川さんは「少しでも被災地の子どもたちを支えになれば」と話しておられました。

続いて4日(月)午後福島生協病院検査科の児玉科長が出発の予定です。

第3陣の医療支援は4月9日(土)までです。

【3日(日)支援に出発する土佐岡さん、長谷川さん】



2)第4陣(4月10日～)、第5陣(4月17日～)を募集!

医療支援者用の寝袋募集中!

- 第4陣は、訪問看護ステーションコープ五日市の村崎看護師が4月10日(日)～16日(土)となります。引き続き募集します。
- 第5陣については福島生協病院放射線科・住吉放射線技師が4月17日(月)～23日(土)支援予定。引き続き募集します。

2. 支援した方々の心を積んで「走った」!

3月25日(金)～27日(日)で新潟の支援物資配送センターに当生協の支援物資を車で運んだ五島さん(総務部)から手記が届きました。

- まずは事故を起こさないこと、必ず物資を届けることを目標に出発した。途中、悪天候にあいながらの不安な道中だったが、無事に届けることができ安堵している。
- 支援した方々の心を積んでいることと同義と感じ、責任感に押しつぶされそうだったが、誰かが絶対にやらなければならないことであり、志願した自分に任せていただいたことを、今では光栄に思う。
- まだまだ支援は長期に及び必要になるはずであるから、また自分の力が必要とされたときは積極的に手を挙げ、全力で応えたい。

以上